

A black and white photograph of the Massachusetts Institute of Technology (MIT) building, featuring a prominent dome and a portico with columns. The building is surrounded by trees, some of which are bare, suggesting a winter or early spring setting. The text is overlaid on the top half of the image.

**2023
JFMA 秋の18講座**

殆どの大学職員がFMに関わっていることを知るための講座

キャンパスFM研究部会 部会長 興津利継

【本日のあらまし】

大学にファシリティマネジメントが必要であることをご理解頂くために

- ① 殆どの職員がFMに關与している事実
- ② 大学でのFMの3要素（スペース、品質、財務）
- ③ 取り巻く変化への対応
- ④ 研究部会のこれまでの活動

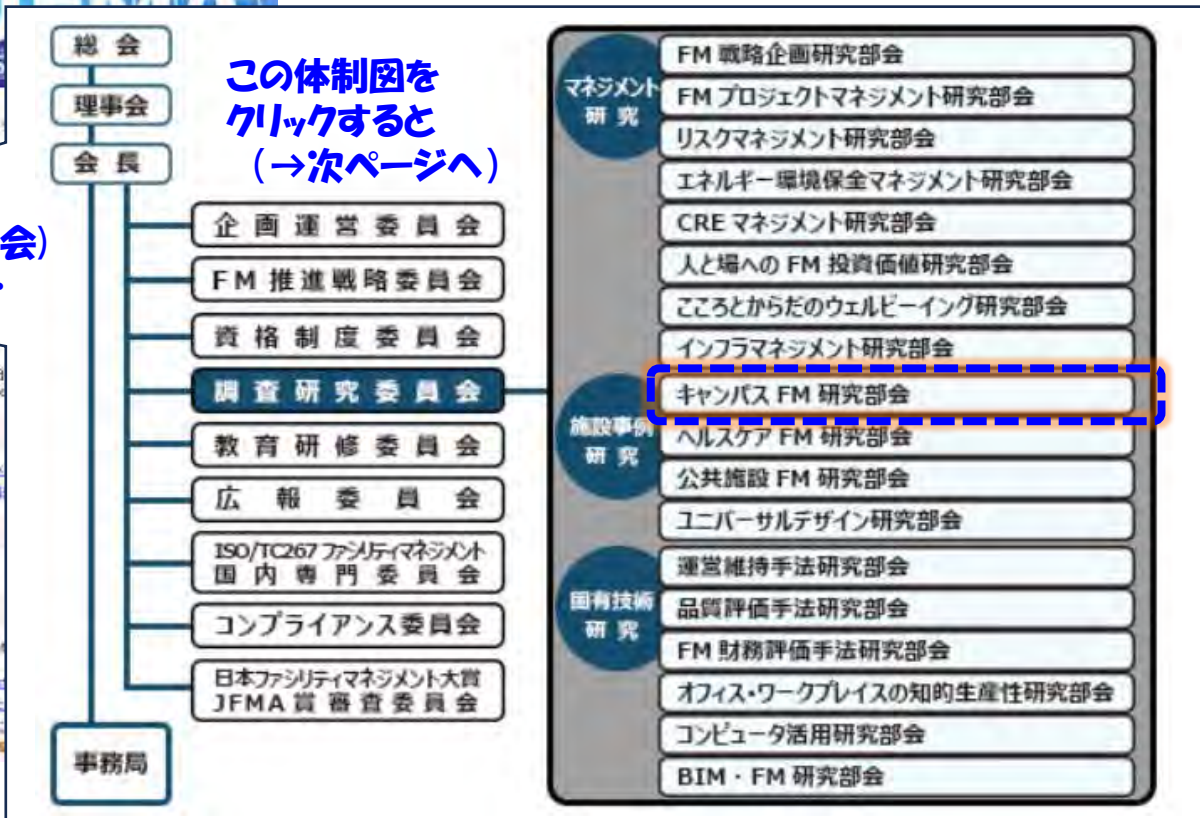
をご説明した後、

11月から毎月の部会で行う基礎講座と

ご参加の方法をご案内します。

0-1. 部会の位置づけ (1)

JFMAトップページの左メニューから…



0-1. 部会の位置づけ (2)

<p>01. FM総務企画研究部会</p> <p>FM部会「総務・経理・企画」を担う。経営管理や施設管理の企画・推進、FM推進、FM推進員・施設管理推進員、施設「設備・環境」のFM推進・維持管理の推進を担っている。</p>	<p>02. FMプロジェクトマネジメント研究部会</p> <p>FMプロジェクトマネジメントの推進、運用に関する研究や、施設管理の「FM」推進、FM推進員・施設管理推進員による施設管理の推進に関する研究を行っている。</p>
<p>03. リスクマネジメント研究部会</p> <p>施設管理のリスク管理に関する研究や、施設管理のリスク管理に関する研究や、施設管理のリスク管理に関する研究を行っている。</p>	<p>04. エネルギー環境保全マネジメント研究部会</p> <p>施設管理のエネルギー環境保全に関する研究や、施設管理のエネルギー環境保全に関する研究や、施設管理のエネルギー環境保全に関する研究を行っている。</p>
<p>05. CREマネジメント研究部会</p> <p>施設管理のCREに関する研究や、施設管理のCREに関する研究や、施設管理のCREに関する研究を行っている。</p>	<p>06. 人と場へのFM投資価値研究部会</p> <p>施設管理のFM投資価値に関する研究や、施設管理のFM投資価値に関する研究や、施設管理のFM投資価値に関する研究を行っている。</p>
<p>07. こころとからだのウェルビーイング研究部会</p> <p>施設管理のウェルビーイングに関する研究や、施設管理のウェルビーイングに関する研究や、施設管理のウェルビーイングに関する研究を行っている。</p>	<p>08. インフラマネジメント研究部会</p> <p>施設管理のインフラに関する研究や、施設管理のインフラに関する研究や、施設管理のインフラに関する研究を行っている。</p>
<p>09. キャンパスFM研究部会</p> <p>施設管理のキャンパスFMに関する研究や、施設管理のキャンパスFMに関する研究や、施設管理のキャンパスFMに関する研究を行っている。</p>	<p>10. FM推進員研究部会</p> <p>施設管理のFM推進員に関する研究や、施設管理のFM推進員に関する研究や、施設管理のFM推進員に関する研究を行っている。</p>
<p>11. 公共施設FM研究部会</p> <p>施設管理の公共施設FMに関する研究や、施設管理の公共施設FMに関する研究や、施設管理の公共施設FMに関する研究を行っている。</p>	<p>12. ユニバーサルデザイン研究部会</p> <p>施設管理のユニバーサルデザインに関する研究や、施設管理のユニバーサルデザインに関する研究や、施設管理のユニバーサルデザインに関する研究を行っている。</p>
<p>13. 施設維持手法研究部会</p> <p>施設管理の施設維持手法に関する研究や、施設管理の施設維持手法に関する研究や、施設管理の施設維持手法に関する研究を行っている。</p>	<p>14. 施設評価手法研究部会</p> <p>施設管理の施設評価手法に関する研究や、施設管理の施設評価手法に関する研究や、施設管理の施設評価手法に関する研究を行っている。</p>
<p>15. FM材料評価手法研究部会</p> <p>施設管理のFM材料評価手法に関する研究や、施設管理のFM材料評価手法に関する研究や、施設管理のFM材料評価手法に関する研究を行っている。</p>	<p>16. オフィスワークスペースの知能生産性研究部会</p> <p>施設管理のオフィスワークスペースの知能生産性に関する研究や、施設管理のオフィスワークスペースの知能生産性に関する研究や、施設管理のオフィスワークスペースの知能生産性に関する研究を行っている。</p>
<p>17. コンピュータ活用研究部会</p> <p>施設管理のコンピュータ活用に関する研究や、施設管理のコンピュータ活用に関する研究や、施設管理のコンピュータ活用に関する研究を行っている。</p>	<p>18. BIM・FM研究部会</p> <p>施設管理のBIM・FMに関する研究や、施設管理のBIM・FMに関する研究や、施設管理のBIM・FMに関する研究を行っている。</p>

09...をクリック

キャンパスFM研究部会 (SCM06) 【施設事例研究】

大学での新たな教育展開と社会ニーズに対応した FM実践事例と手法の調査研究
ならびに大学教職員へのFMの浸透



部会長：岡田 利雄
株式会社FOR代表取締役
認定ファシリティマネジャー

● keywords ●
学生本位の学びの場 オンライン授業 進学する魅力・価値 学生数の減少
ダウンサイジング カーボンニュートラル・ZEB 基本金・減価償却・積立率

サマリー 大学は、我が国の成長を支える存在であり、教育・研究に成果を出しながら経営を継続する必要があるが、進学者数減少期を迎え、淘汰される大学も散見される厳しい時代になってきた。各大学の置かれたポジションによって取るべき施策は異なるが、学生本位の学びを実現し、学生に選ばれる魅力を持ち続けるべきこと。そして、経営から見て持続可能な水準・内容に施設投資をコントロールすべきことは共通である。当部会では、経営資源の多くを振り向けているキャンパス施設を「経営にとって最適な構成・状態・運用にする」ことがFMであるとの認識に立ち、計画手法や施設系課題の先進事例を調査して情報提供を行い、財務視点から考えるFMの書籍も発刊してきた。現状は、従来のとおり、大学のDX・GXの動向や先進事例を通じて、今後の大学のあり方の調査研究を進めている。

研究成果 他 (下の方に過去の発表資料もあります)

ファシリティマネジメントフォーラム ※ JJ: JFMA機関誌「JFMA JOURNAL」掲載

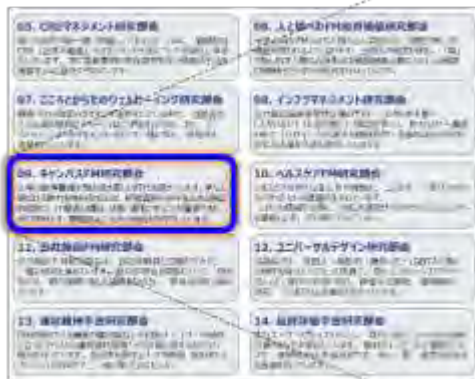
- FMフォーラム2023 (大学設備基準改正などの潮流を踏まえたキャンパス施設の方向性調査)
- FMフォーラム2023_JJ (大学設備基準改正などの潮流を踏まえたキャンパス施設の方向性調査)
- FMフォーラム2022 (サステナブル時代のキャンパスFM-大学の施設- 富財担当者のための初級講座-)
- FMフォーラム2022_JJ (サステナブル時代のキャンパスFM)
- FMフォーラム2021 (財務視点から考える私立大学のファシリティマネジメント)

0-2. キャンパスFM研究部会の紹介

- | | |
|--|---|
| <p>01. FM総合企画研究部会</p> <p>大学全体の「施設・建築・FM業務」を管理し、経営戦略や社会課題に応じた「FM戦略」の立案・推進・評価・改善の推進を図ります。</p> | <p>02. FMプロジェクトマネジメント研究部会</p> <p>FMプロジェクトマネジメントに関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |
| <p>03. リスクマネジメント研究部会</p> <p>大学全体の「施設・建築・FM業務」に関するリスクを把握し、リスクを低減するための対策を立案・推進・評価・改善の推進を図ります。</p> | <p>04. エネルギー環境保全マネジメント研究部会</p> <p>大学の「エネルギー環境保全」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |
| <p>05. CREマネジメント研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> | <p>06. 人と建物のFM連携推進研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |
| <p>07. こころとからだのウェルビーイング研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> | <p>08. インフラマネジメント研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |
| <p>09. キャンパスFM研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> | <p>10. ヘルパケアFM研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |
| <p>11. 公共施設FM研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> | <p>12. ユニバーサルデザイン研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |
| <p>13. 環境維持手法研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> | <p>14. 施設維持手法研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |
| <p>15. FM材料評価手法研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> | <p>16. オフィスワークスペースの知性・感性研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |
| <p>17. コンピュータ活用研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> | <p>18. BIM・FM研究部会</p> <p>大学の「施設・建築・FM業務」に関する、様々な課題を解決するための「PM」活動の推進を図ります。</p> |

大学は進学者減少期を迎え、厳しい時代を迎えています。学生に選ばれる魅力を持ち続けるには、**経営資源の過半を占める施設を**
経営にとって最適な構成・状態・運用に
することが重要であり、それがFMです。
大学の教職員全ての方の参画をお待ちしています。

0-2. キャンパスFM研究部会の紹介



大学は進学者減少期を迎え
厳しい時代を迎えています。
学生に選ばれる魅力を持ち続けるには、
**経営資源の過半を占める施設を
経営にとって最適な構成・状態・運用に
することが重要であり、それがFMです。**
大学の教職員全ての方の参画をお待ち
しています。

FMの定義：企業・団体等が**組織活動のために、施設とその環境を
(JFMA) 総合的に企画、管理、活用する経営活動**

「あれっ？FMって“建物を作って、管理する”手法じゃないの？…」

1. 殆どの職員がFMに關与している事実

1-1. 施設課の仕事って、こうだと思っていないですか？

【建物を作る時は…】



我が校に相応しい品位、学生にとっても魅力ある設計をしてもらうため、著名な建築家、設計事務所、ゼネコン等に依頼すれば良い。



設計の内容や施工のチェック、自校内の関連事項の調整の為に、建築技術者を雇い入れる。

And/Or 適正な品質や価格等となるようにPM会社に参画してもらう。

【建物の維持管理は…】

実績があり、コスト競争力のあるビルメン会社に任せる
大学の子会社に一括で任せて、ビルメンを管理してもらう。



1-2. もしも、それだけ…だとすれば…

【建築エンジニアで入職した人は…】



建物が出来上がる迄は
実力も発揮できるし、
皆から評価されます。



その後も計画が続く
と思ったのに中止に！
「僕は何をすれば……!？」



【ローテーションで施設課に異動した職員は…】



今まで どの部署でも
頑張ってきた。必要な
法律も条例も勉強して
一人前の大学人に
なったと思ったのに…。



突然の施設課異動：
「明日から施設課かよ…。
建築なんてわかんないよ。
建築エンジニアには絶対
勝てないし……。」



1-3. どちらも必要な人材なのです

【建築エンジニアで入職した人は…】



建物をつくる時だけでなく、既存棟の課題（遵法、劣化、…etc）や、どんな用途に改修可能か等々、力を発揮できることが**山ほど**あります。



【ローテーションで施設課に異動した職員は…】



建物の中で行われる**活動**やそれを**誘導・規定**する人々については、**あなたの方がずっと良く知っています**。ニーズを引出し、スムーズな**意思決定に導くのはあなた**です。



1-4. そもそも建物を造ると言うけど…

【設計図の基になる計画条件はどう決めてるの？】

設計図って、大学の現状を見てもらったり、参考事例を見たりすれば出来るのでしょうか？

それも必要ですが、**本当に大事なものは…**；

[キャンパス全体配置] **キャンパス全体のあるべき姿**に則っているか？

[規模、柔軟・融通性] どこまで**先の将来、変化の可能性**を考えているの？

[学生本位の学び] **学生の学びを高めるのに何が必要**か…考えている？

["] **学生が**キャンパスで**困っていること**が反映されている？

[カリキュラム編成変化] **カリキュラム編成の変化やオンライン授業の影響**は？

←職員はそれぞれの**部署**で検討していますし、その**論拠や将来案**も持っているでしょう。

1-4. そもそも建物を造ると言うけど…

【設計図の基になる計画条件はどう決めてるの？】

具体的にどの部署か…と言うと、例えば…このような感じです。

- 【企画、管財、施設】 キャンパス全体のあるべき姿に則っているか？
- 【企画、教務、……】 どこまで先の将来、変化の可能性を考えているの？
- 【教務、図書、総務】 学生の学びを高めるのに何が必要か…考えている？
- 【学生支援、教務…】 学生がキャンパスで困っていることが反映されている？
- 【教務、情報、企画】 カリキュラム編成の変化やオンライン授業の影響は？

設計図は専門家が勝手に作るものではなく、JFMAのFMの定義にあるように
「…組織活動のために、総合的に企画…する経営活動」に基づくのです。

1-4. そもそも建物を造ると言うけど…

【利用効率は誰が責任もって高めるの？】

造ってからの運用も大事ですが…、**無駄を放置したまま要求条件を出すと、無駄に大きな建物が出来てしまいます。（＝その分だけ経営を圧迫します）**

例えば；

	第1限	第2限	第3限	第4限	第5限
講義室稼働率	38%	84%	96%	72%	48%

……ここだけを見て「**教室数が限界!**」とっていませんか？

……**原価意識**を共有できれば、**時間割変更**の学内調整も可能になる筈です。

利用を高める為に、関係部署が努力・工夫すべきことは多々あります。

研究室の広さ・数の見直し（書籍のデジタル化、専任教員→基幹教員への変化、…等の影響）

研究室内の**ゼミ用エリア**を教員不在時に**利用**する方法

ラーニングコモンズ等の利用促進のための配置上の工夫 ……etc.

1-5. 建物にかかるお金、どのように理解していますか？

〔建設の資金も
大変ですが…〕

借金して造っても、収益が一気に増えることはありません。→事前の蓄えや寄付金が求められます。

&

徐々に劣化し価値が減じるので、更新や建替の費用を毎年蓄えておく仕組みを守る必要があります。
(後述)

〔建物がある限り
お金がかかります〕

使用すれば水光熱費がかかるし、大規模ならば、設備運転監視・警備・清掃費等もかかります。

&

収支計算では建物の価値が減った分(※1)をその年の支出とします。みなし支出(※2)なので、左記の目的での蓄えに使えます。(※1,2後述)

〔予測・制御には
データが必要です〕

造る時の資金収支だけでなく、その後の事業収支の変化の予測こそ大事：→毎年の施設費の実績値が必要です。



水光熱費や運転監視・警備・清掃など、改善可能な費用は、各々の支出が判るように細目で経費処理しておく必要があります。(後述)

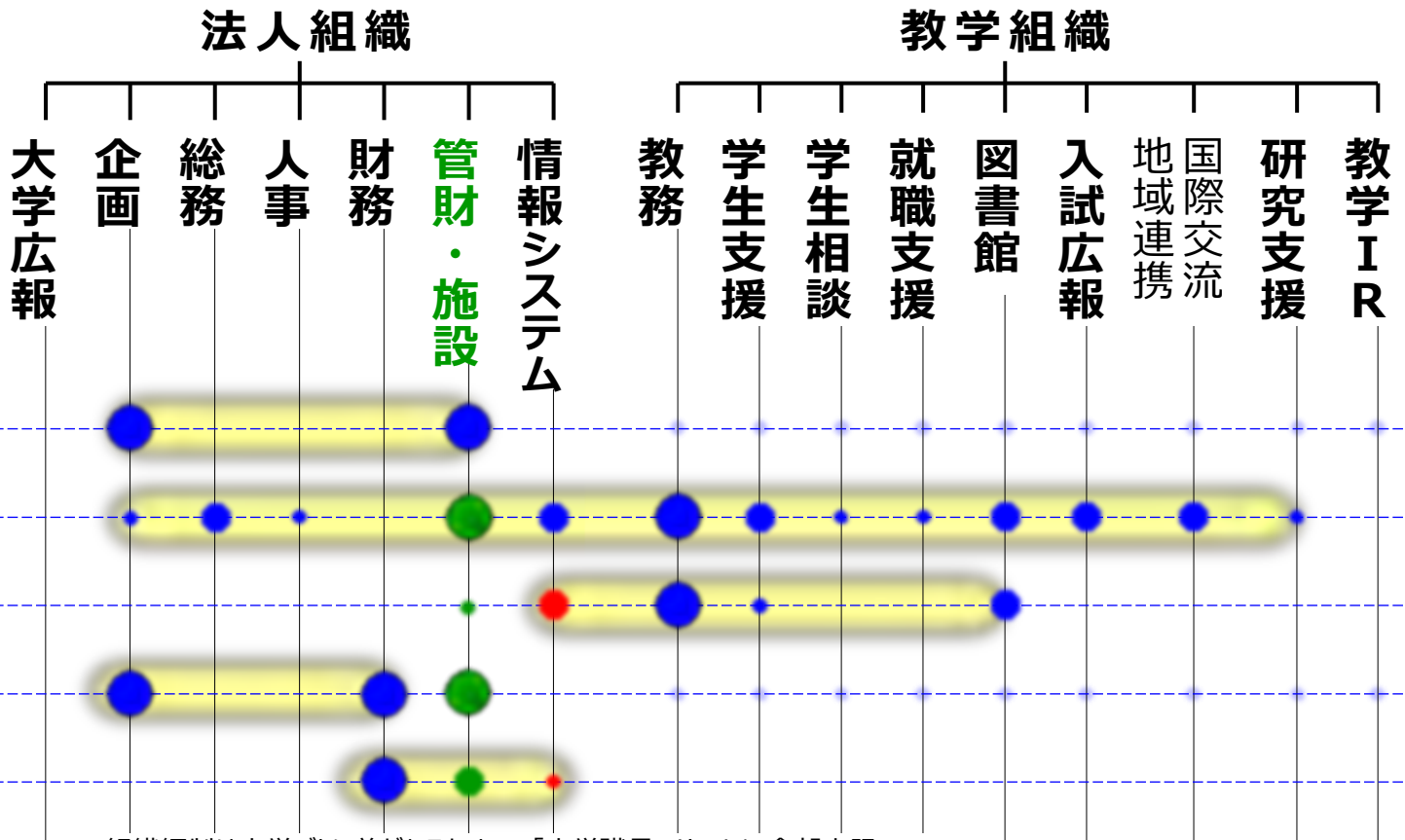
1-6. 事務組織例とFM項目との関係 (イメージ)

【凡例】

- …主導
- …取り纏め
- …数値化対応

【FM項目 (例)】

- マスタープラン
- 施設のニーズ
- 施設利用の効率
- 生涯費用の認識
- 施設コスト明確化



組織編制は大学ごとに差があるため、
右の書籍を参考にした。

「大学職員のリアル」 倉部史記
中公新書ラクレ 2023年7月7日

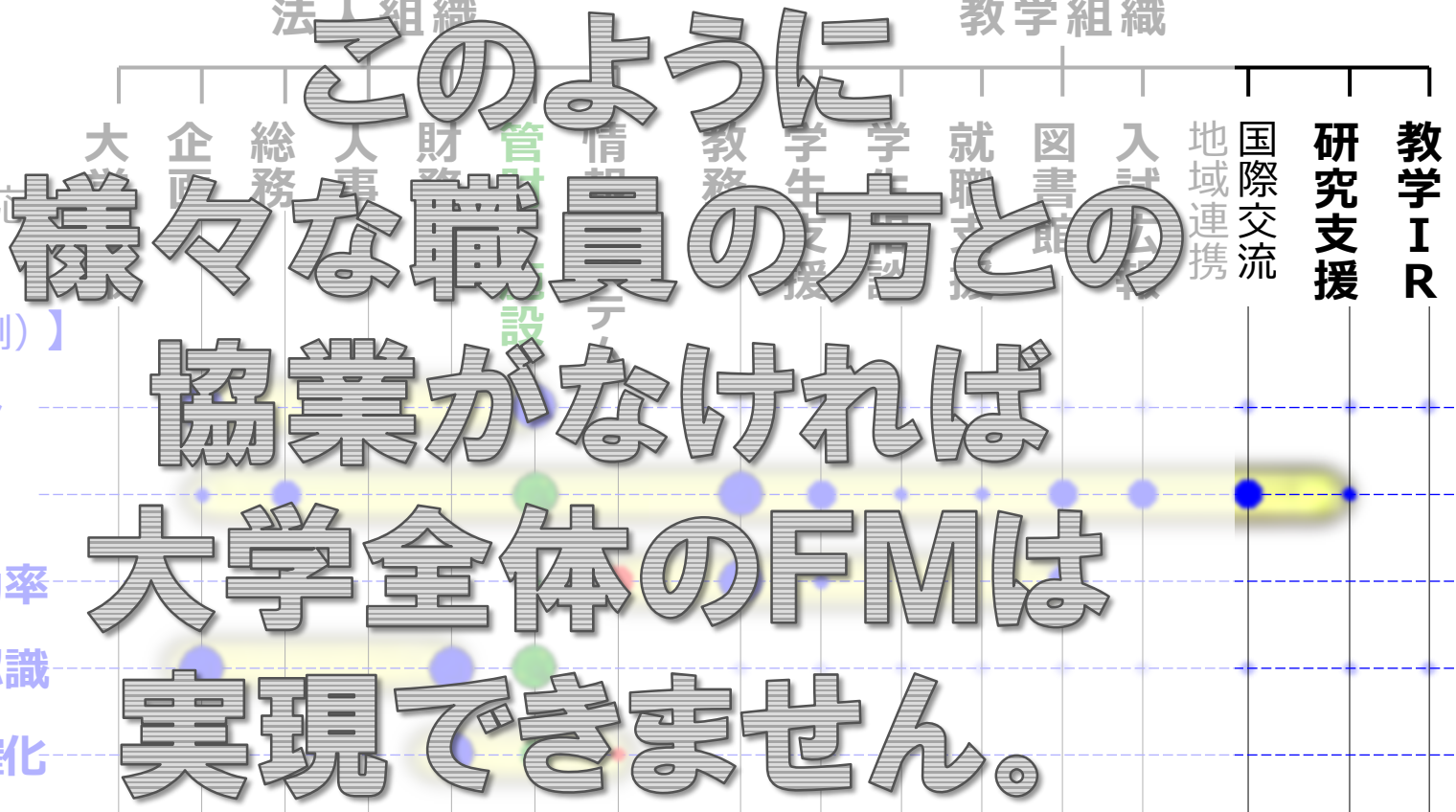
1-6. 事務組織例とFM項目との関係 (イメージ)

【凡例】

- …主導
- …取り纏め
- …数値化対応

法人組織

教学組織



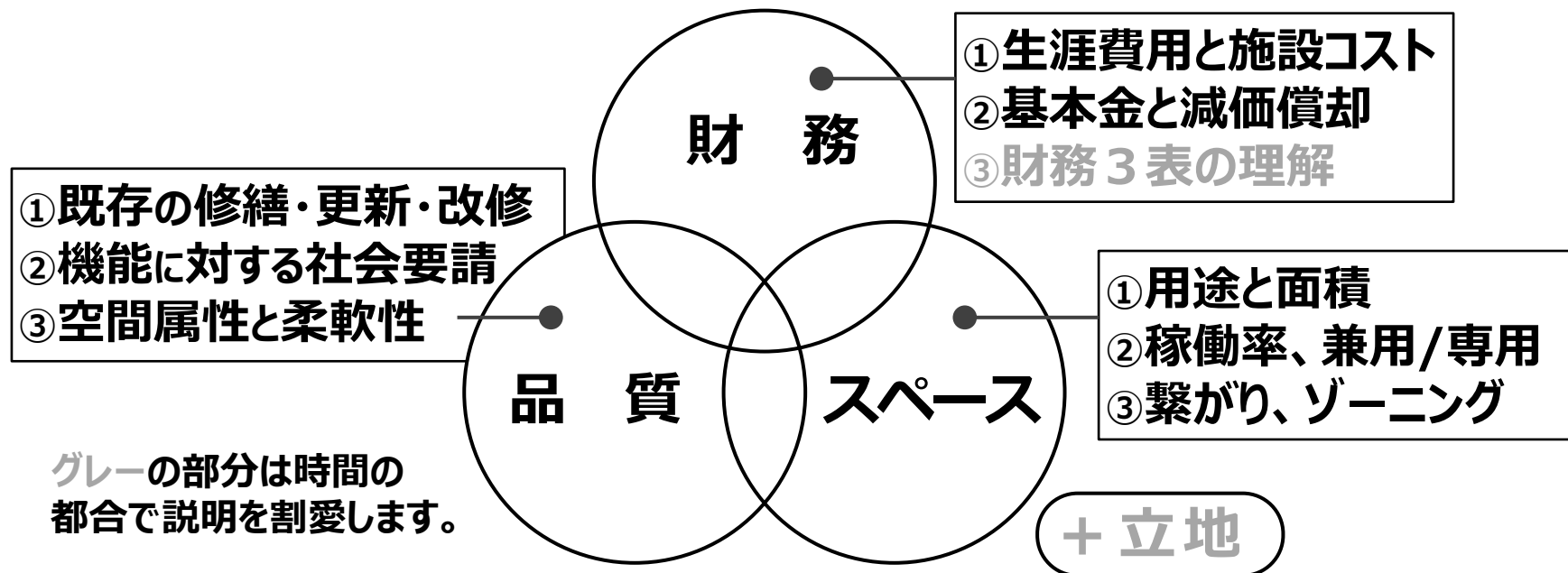
2. 大学でのFMの3要素（スペース、品質、財務）

2-1. FMの3要素

スペース(※)、品質、財務をFMの3要素として説明することが多いです。

(※：スペースの代わりに「供給」と書いている教材もありますが、それは一般マネジメントのQCDをなぞらえているためです。)

3要素それぞれの説明は、教材毎に違いますが、FMの網羅性と大学の特性を考慮しますと、以下の3×3ならびに立地の10項目にまとめることができます。



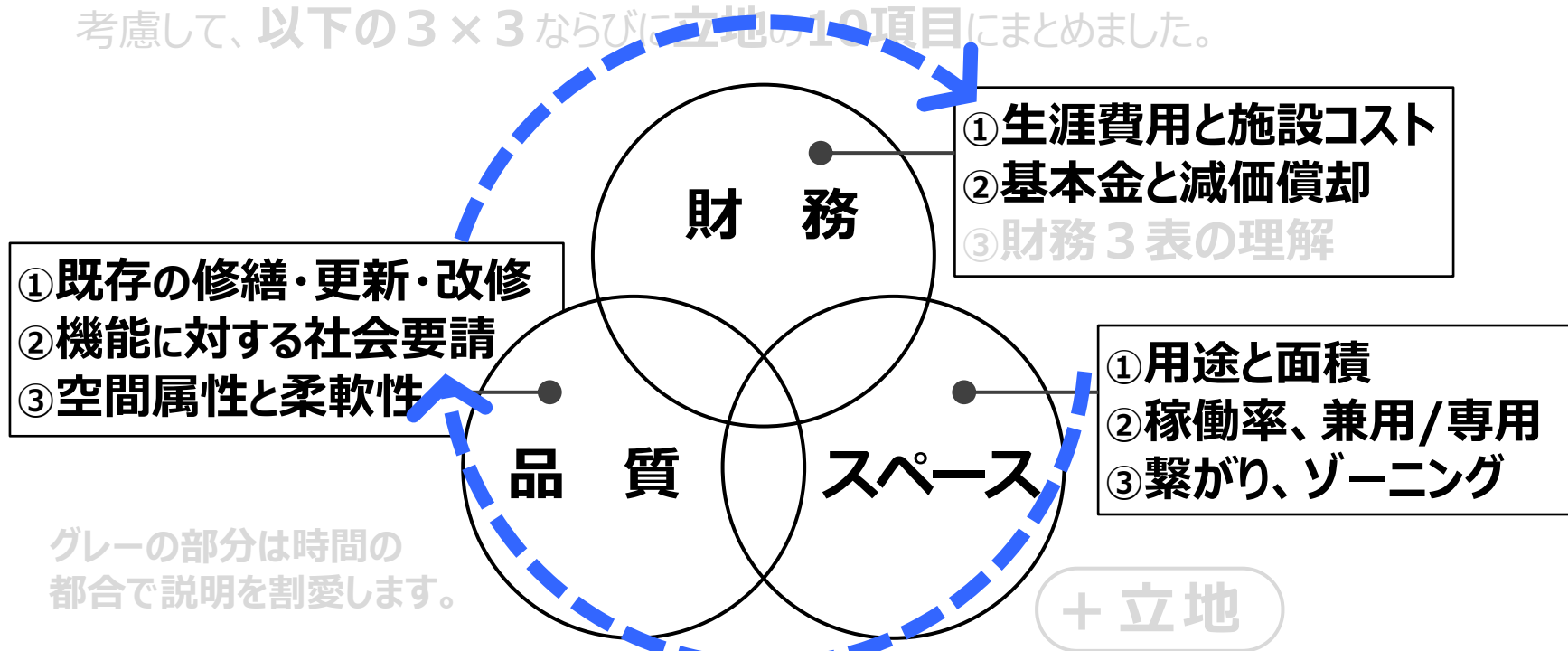
2-1. FMの3要素

品質、財務、スペース(※)をFMの3要素として説明することが多いです。

(※: スペースの代わりに「供給」書いている教材もありますが、それは一般マネジメントのQCDDを踏襲しているに過ぎません)

スペース①～③→品質③～①→財務①～②の順に説明します。

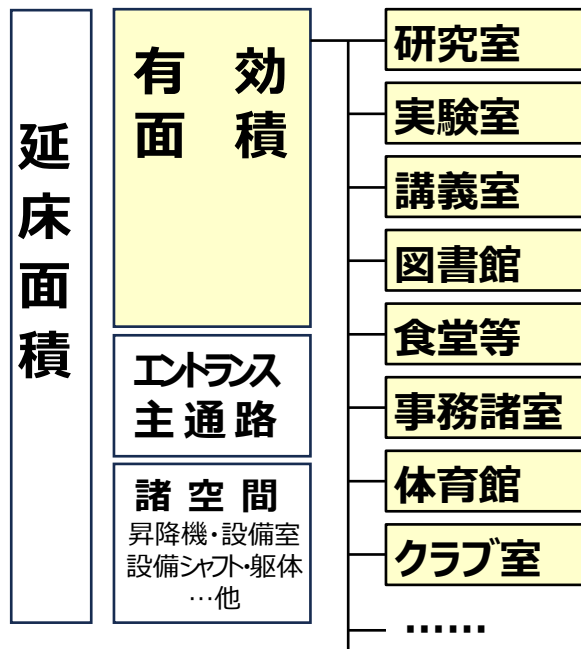
考慮して、以下の3×3ならびに立地の10項目にまとめました。



グレーの部分は時間の都合で説明を割愛します。

2-2. スペース：①用途と面積、②稼働率、兼用/専用

・建物は 目的・用途に応じた機能諸室、通路、建物を成立させる諸空間で構成されます。



(注：1棟での構成とは限りません。)

・各諸室は、その利用者(数)と活動内容、保管面積などで、およその面積が決まります。

・各諸室は、稼働率が低ければ他諸室との兼用や多目的ルーム化も検討されます。

・各諸室には、利用責任者や管理者がいて、ニーズや現状の不具合・不都合を把握しています。

■ 大学設置基準では、校地、校舎等の施設及び設備等について、第三十四条～四十一条で規定しています。

校地面積は 収容定員上の学生数×10m²/人

校舎面積は 学部種類毎に、同上の学生数に基づき

基準面積を規定 (別表第三)

2-3. スペース：③繋がり、アクセス、ゾーニング

・機能の繋がり、入室権限者…等々 利用者・管理者からの情報が必要です。

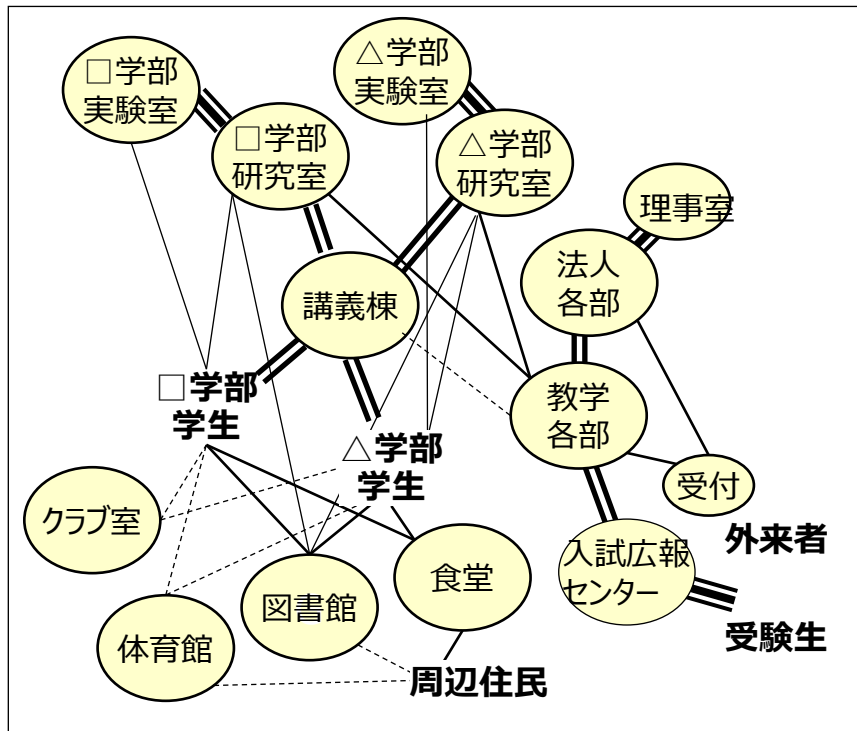


図. 諸室どうしのつながり

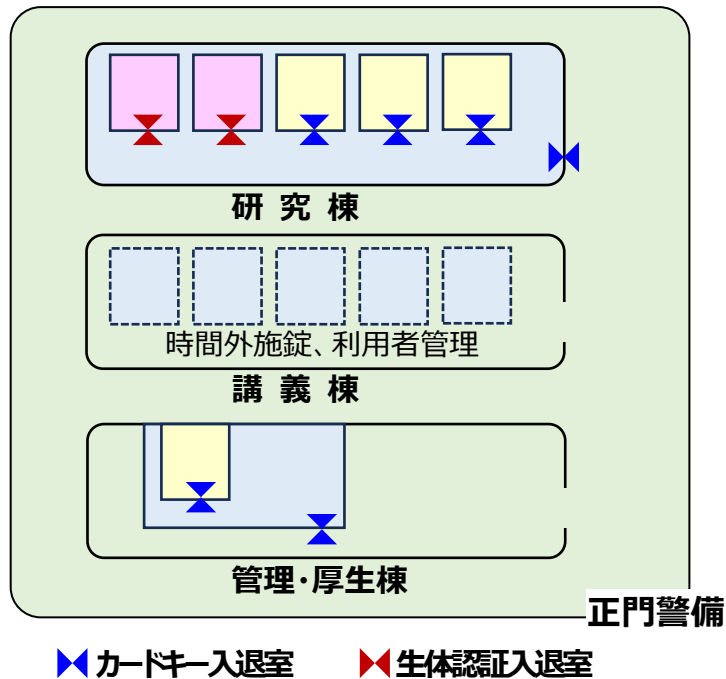


図. セキュリティゾーニングのイメージ

2-5. 品質：②機能に対する社会要請

時代と共に、様々な社会的な要請がなされ、生活に関する要求水準の変化もありました。

【法律・政令等の変化】

'75年 受水槽の6面点検化
'81年 新耐震設計基準
'01年 PCB特別措置法
'01年 ダイオキシン類特別措置法
'05年 ユニバーサルデザイン政策大綱
'06年 安全衛生施行令改正(アスベスト)
'06年 耐震改修促進法
'13年 天井の脱落防止措置
'15年 (略称)建築物省エネ法

↓ ↓
多くの法律、政令等が更に改正され
益々厳格になってきています。

【生活様式】 【技術の普及】

例:トイレの
水準変化

大便器洋式化



小:自動水栓
ウォシュレット化



女子トイレの
パウダールーム化

省エネ機器・器具普及(LED等)

センサー類の普及(防犯・入退出)

大型モニター普及

LAN無線化、
BYOD機器活用
ビーコン等の活用

新棟での

- ・法令の遵守
- ・新技術の採用

だけでなく、

建築エンジニアが中心
となり、既存建物での
是正や満足度向上を
図ることが望まれます。

2-6. 品質：①既存の修繕・更新・改修

建物は劣化します→メンテナンスや修繕で劣化の進行を抑え、更新で元の水準に戻します。

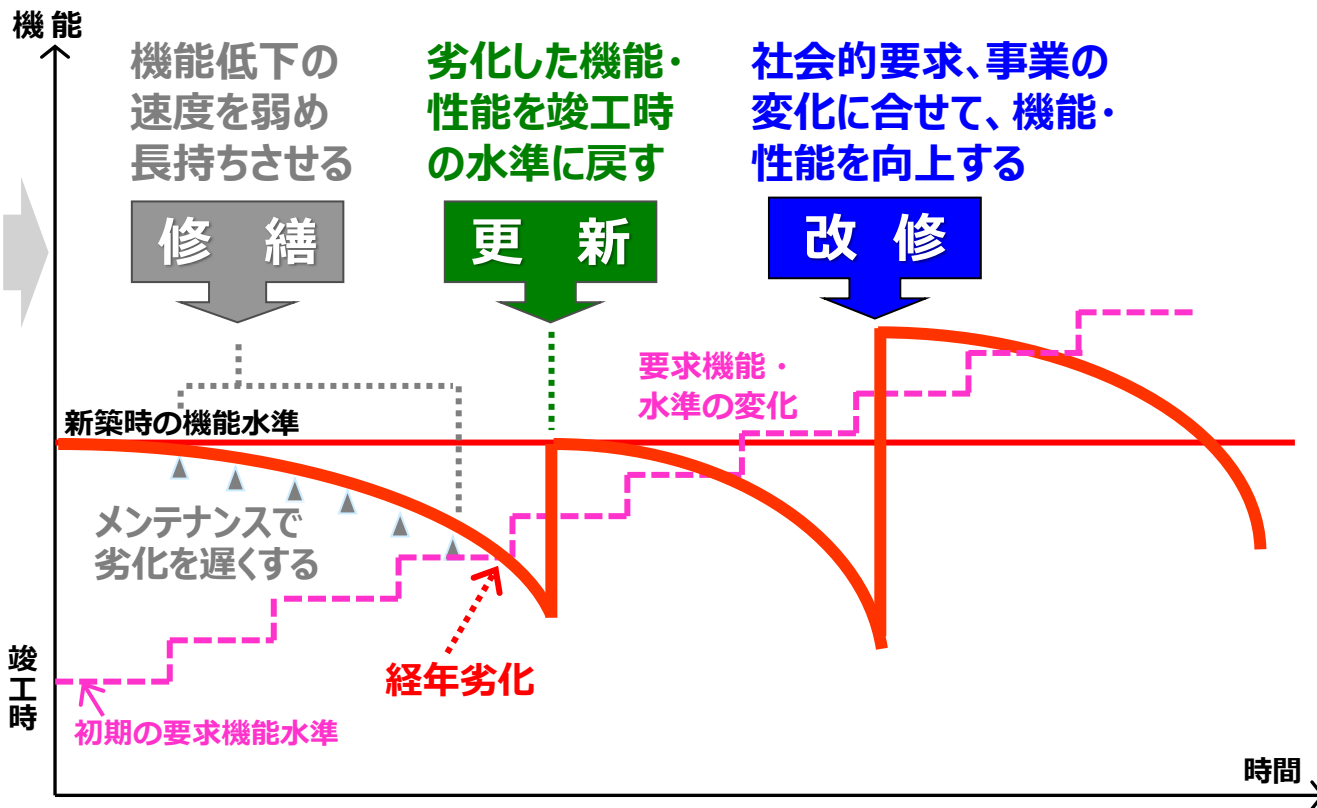


屋上伸縮目地の劣化（隆起）



チラー、配管の劣化、錆

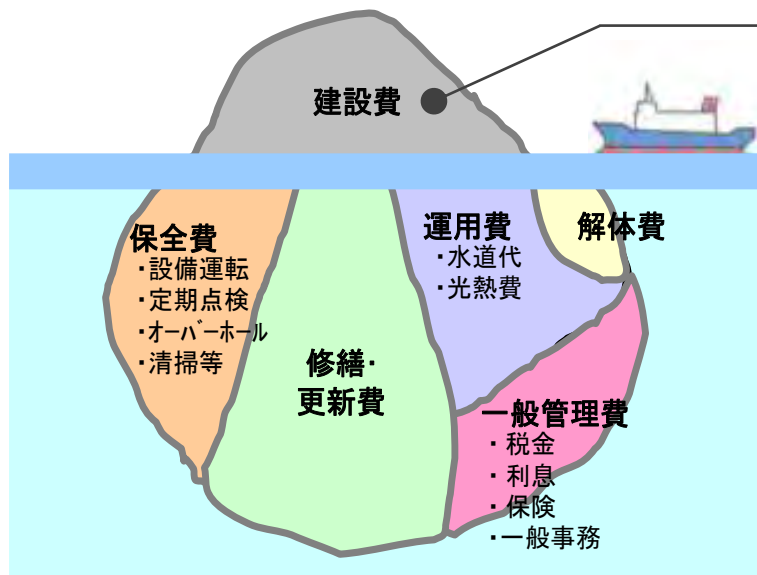
出典：竹中工務店「維持保全の手引き」



2-7. 財務：①生涯費用と施設コスト

建物の生涯には様々な費用が発生します。
建設費はただか1/4程度にしかありません。

毎年の事業収支での施設関連費です。
減価償却額を用いる点が異なります。



ファシリティコスト

減価償却額

(賃借料)

修繕・更新・改修費 ----- 非定常

運用費 ・ 光熱水費

保全費 ・ 設備運転、点検
部品取替、清掃警備

一般管理費 ・ 公租公課、保険
一般管理人件費

定常的費用

これを認識していないと、建物を造る事の
経営への影響が過少評価されます。

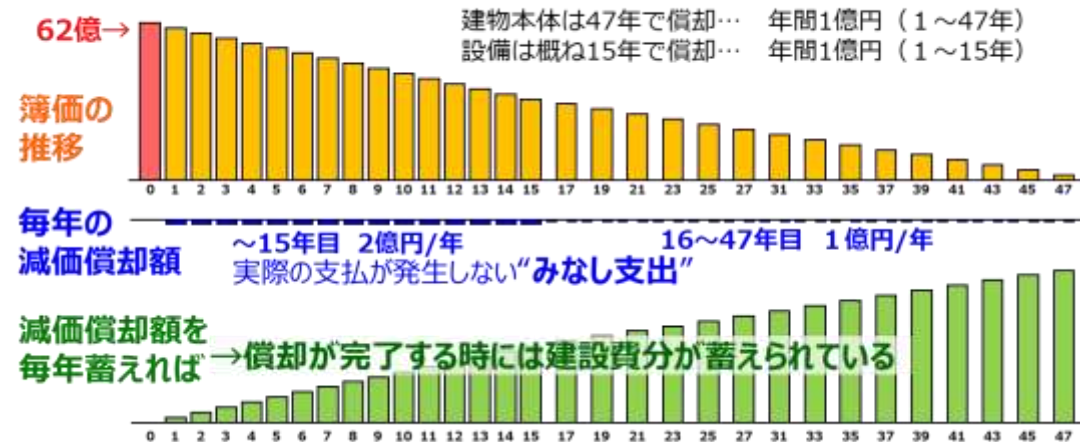
この細目で経費処理してくれていないと
相互の比較も、効果把握も出来ません。

2-8. 財務：②基本金と減価償却

- **基本金**：学校法人は、学校教育を安定的に継続することが前提
→諸活動の計画に基づき**必要な資産を継続的に保持**しなければなりません。
→**建物の取得額は1号基本金に組入れ**られますが（借金分は返済時に組入れます）
相対する建物資産は毎年の**減価償却額**の分ずつ**簿価が小さく**なります。

- **減価償却**：
劣化等による**価値減少を**
財務的に捉えた考え方です。
↓
毎年の減価償却額を蓄えれば
建物簿価 + Σ減価償却
= 1号基本金
になるので、**必要な資産が**
継続して保持されます。

例：建設費62億円の場合（建物本体が47億、設備が15億と想定）



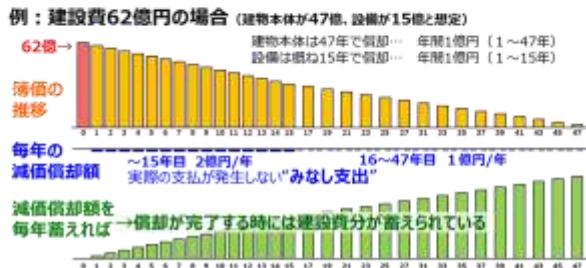
3. 取り巻く変化への対応

3-0. はじめに

2-8. 財務：②基本金と減価償却

- 基本金：学校法人は **学校教育を安定的に継続することが前提**
 - 諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持しなければなりません。
 - 建物の取得額は1号基本金に組入れられますが（借金分は返済時に組入れます）
相対する建物資産は毎年の減価償却額のみならず簿価が小さくなります。

- 減価償却：
劣化等による価値減少を財務的に捉えた考えです。
↓
毎年の減価償却額を蓄えれば
建物簿価 + Σ減価償却 = 1号基本金
になるので、必要な資産が継続して保持されます。



「**学校教育を安定的に継続**することが前提ではあるが……、
「現状通り」を漫然と続けられる環境には置かれていない。

この章では…、

- ① **需給の変化**
- ② **教育・研究の変化**
- ③ **立地規制関連の変化**
- ④ **文科省によるFMの推奨**

について見ていきたい。

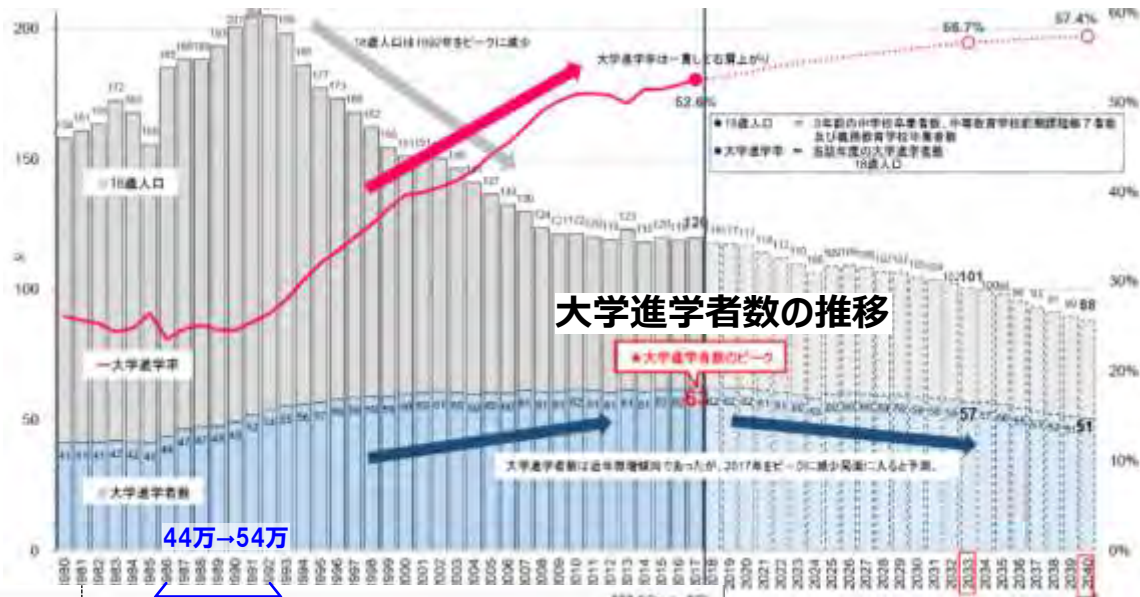
3-1. 需給の変化 (1)

■ 大学進学者数

18歳人口 : '92年をピークに減少
 大学進学率 : 20%台→50%台
 →'17年63万人をピークに減少に転じ
 '40年には51万人へ。(=2割減)

■ 大学の数、収容定員

進学希望急増の'86~'92年に臨時定員政策。'00年台までの大学新設も加わり、
 総定員数は62万人弱となっている。



大学進学者数の推移

大学設置数の推移



'22年
 実働で790校
 総定員62万人弱。

[2020年最新版]
 大学・短大に関する統計まとめ
 (education-career.jp)

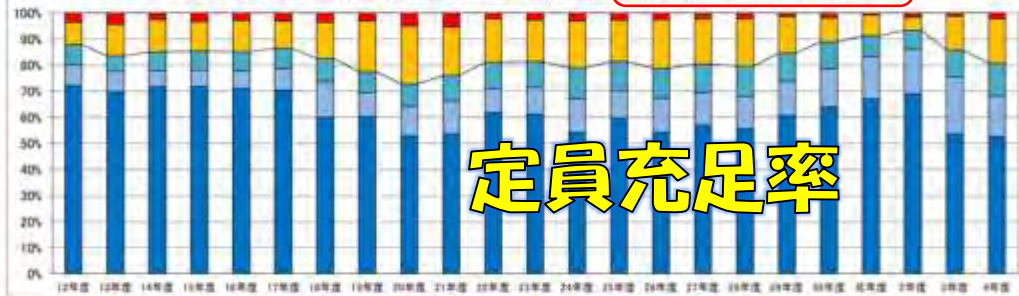
3-1. 需給の変化（2）

私立大学の経営状況について

日本私立学校連盟・経済産業省
（平成41年度）私立私立大学・短大・専修学校入学生数調査（注）100校

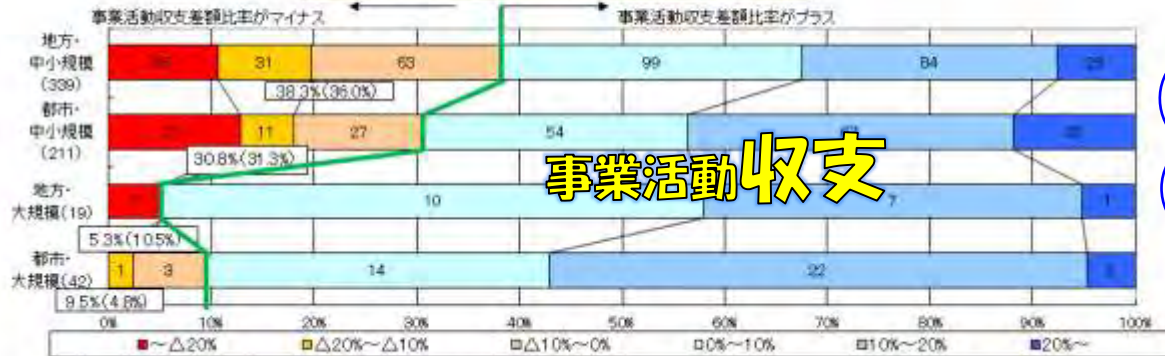
■ 100%以上の学校数 ■ 90%～100%の学校数 ■ 80%～90%の学校数 ■ 50%～80%の学校数 ■ 50%未満の学校数

■ 50%～80%の学校数 ■ 50%未満の学校数



- 定員割れ：
2割の大学が充足率**8割未満**。
- 事業収支：
中小規模の**3～4割が赤字**。

地方中小私大の収支状況は約**4割**が赤字傾向



需給均衡でもこの状況。
 今後、進学者数が**2割減**ると…

中小規模大学だけの
 問題ではなくなる……

※ □ は事業活動収支差額比率がマイナスの割合で、○ は前年度の割合

日本私立学校連盟・経済産業省「今日の私学経営（平成41年度）」J19年度

3-2. 教育・研究の変化

数も多く相互に関連しているので、一部分を列記：

教育

教育改革（'10年台以降、種々）
・質保証 ・主体的な深い学び ..etc.

→ **ラーニングコモンズ、アクティブラーニング**
・シラバスに予復習 ・LMS連動、センサー活用 ..etc.

高大接続
・探求学習(高校) ・共通テスト ..etc.

→ **入試方式の多様化**

→ **入試試験会場ニーズの変化**

大学設置基準改正（'22年10月）

→ 専任→基幹教員、教職員の連携、単位互換、施設基準を機能本位へ → **今後、様々な影響が..**

理工農系分野の拡充（3000億円基金）

→ **62校が理工農系学部・学科新設を計画**
（'23年7月） → **校舎の新設、改造等々**

研究

地域活性のための**地域連携、国公私連携**

世界トップ研究力を目指す**10兆円大学ファンド**

**教育・研究が変われば
施設の構成も変わる**

3-3. 立地規制関連の変化

'59年 首都圏：工場等制限法

'64年 近畿圏： //

'78年 「大学等の地域的適正配置の推進」
(国土庁：←第三次全国総合開発 定住圏構想)

'02年 工場等制限法の廃止

'18年 23区内収容定員抑制：10年間

'23年 同デジタル系定員増容認：7年間

多摩地区、埼玉、神奈川・・・等に新キャンパス
阪南、京阪名、滋賀、奈良・・・

前出の通り、全国に大学の 신설

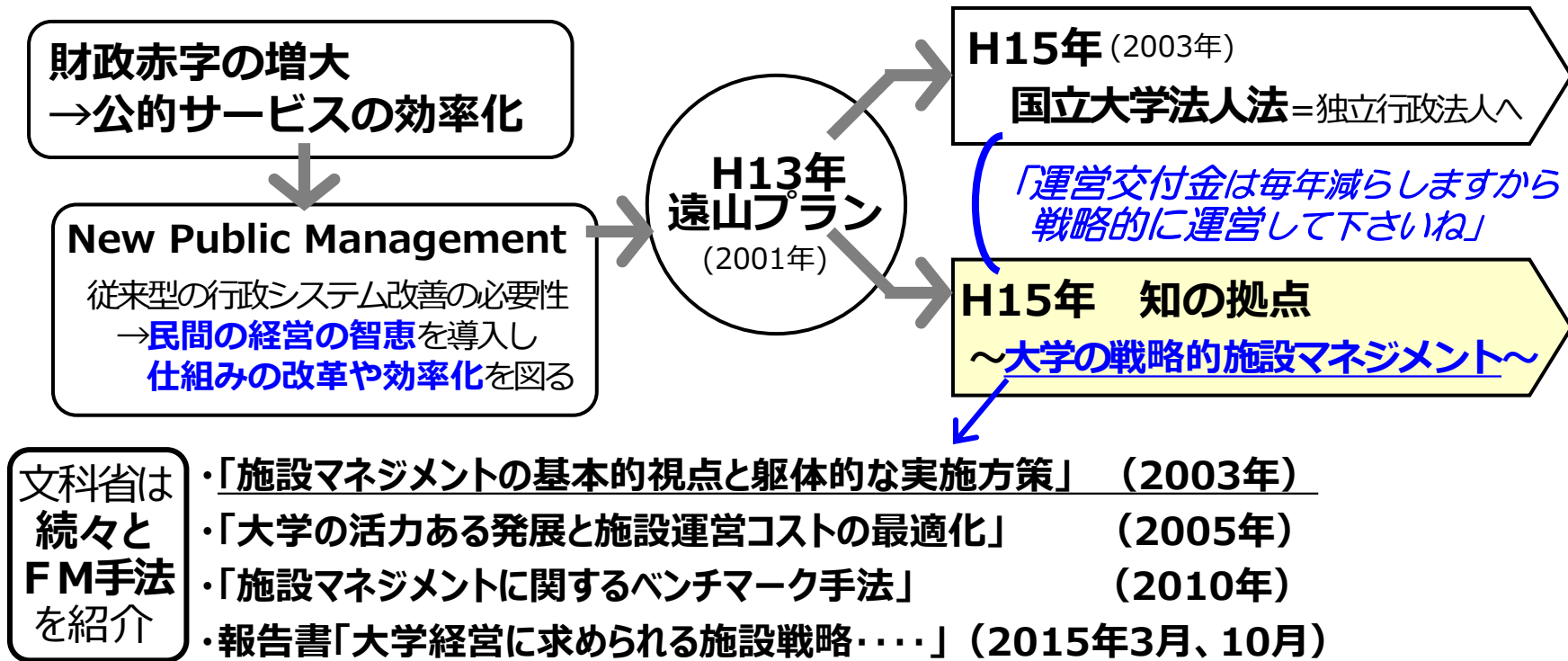
キャンパスの都心回帰や都心進出が続出
→郊外に留まる大学が立地上不利に・・・

(2028年以降に向けた経営計画・・・等)

前出の通り、理工農系の学部・学科申請へ

3-4. 文科省によるFMの推奨（1）

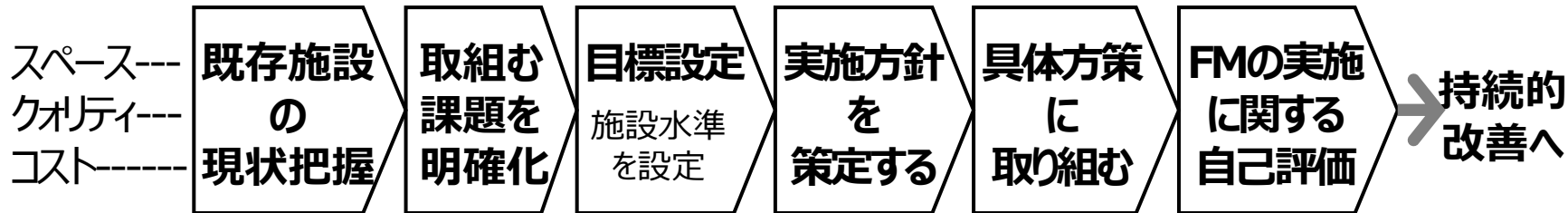
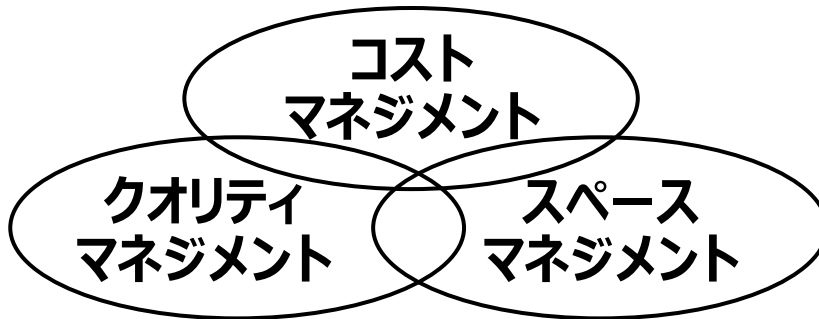
2003年まで、国立大学の職員は国家公務員だったこと、ご存知ですか？



3-4. 文科省によるFMの推奨（2）2003年版の紹介

施設の管理運営に関する専門部会報告
知の拠点—大学の戦略的施設マネジメント
—施設マネジメントの基本的視点と具体的な実施方策—
平成15年8月
今後の国立大学等施設の整備充実に関する調査研究協力者会議

- 全学的な視点からトップマネジメントの一環として戦略的に行うもの！
- 3つの視点から具体的な目標を立て、調和を図りつつ推進する。



- 学生及び教職員の全面的な理解と協力を得られるよう全学的な実施体制を整備する

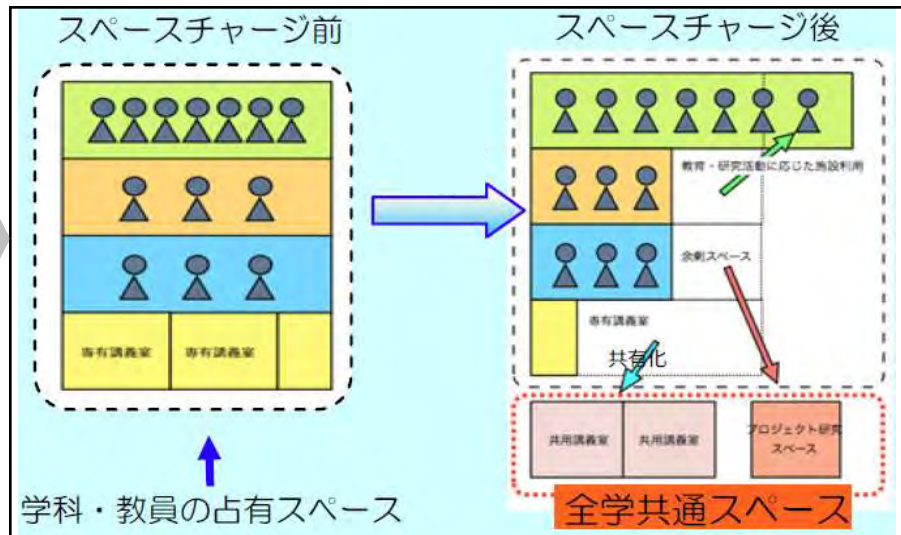
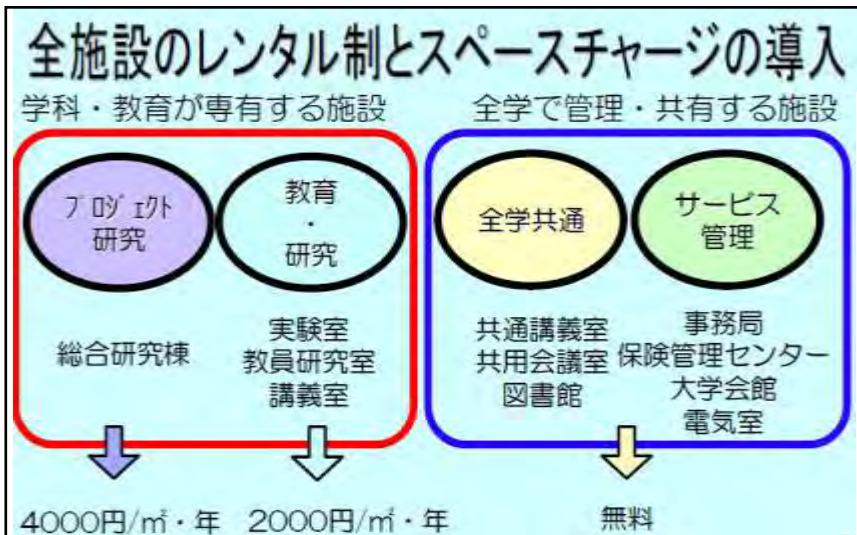
3-4. 文科省によるF Mの推奨（3）2003年版の実施事例

－ 九州工業大学での実践事例 －

課題 {

- ・余裕のある室と狭隘な室が混在
- ・プロジェクト研究スペースの不足
- ・老朽施設の修繕費が賄えない

← { 予算要求が通れば、“施設整備補助金”で建物は作れるが、その建物による運営費の増加は全く考慮されない！ }



効果 {

- ・コスト意識の醸成
- ・スペース不足の解消
- ・余裕／狭隘の是正
- ・修繕費の確保

}

4. 研究部会のこれまでの活動

4-1. 研究部会のこれまでの活動（1）

2007～08年 キャンパスFM
ガイドブック2008作成・出版 ……

2009～11年 キャンパスFM業務の
自己診断テーブルの作成

2012～15年 各種分化会活動の継続

- ・建築プログラミング分科会
- ・ベンチマーキング分科会…他

3章で述べた
「取り巻く環境
変化への対応」
の事例を調査

- ・大学キャンパスの **都心回帰** 事例
- ・**主体的な学び**を促進する場の //
- ・キャンパスの積極的**省エネ推進** //
- ・SGU等に対応した**国際寮** //



4-1. 研究部会のこれまでの活動（2）

2019～21年 「財務視点から考える私立大学の ファシリティマネジメント」作成・出版・・・

学校法人会計での基本金組入や減価償却の仕組みを解りやすく論じ、健全な施設経営のための検討方策・事例も掲載。

2021～22年 カーボンニュートラル、SDGs公開事例収集 大学設置基準改正などの潮流を踏まえた キャンパス施設の方向性調査

- ・コロナ禍で広まったオンライン授業の調査情報収集
- ・大学設置基準改正('22年10月)と背景の //
- ・オンライン授業に積極的な早稲田大学にヒアリング
- ・明治大学和泉、桜美林大学新宿キャンパスの視察



4-1. 研究部会のこれまでの活動（3）

— 視察： **学生本位の学びの場**の事例 —



明治大学
和泉キャンパス
ラーニングスクエア棟
(’22年9月)



桜美林大学
新宿キャンパス
(’22年10月)

4-1. 研究部会これまでの活動（4）

— 視察：カーボンニュートラル・SDGsの事例 —



ZEB Ready
文教大学
東京あだちキャンパス
(’23年6月)



自然エネルギー100%
千葉商科大学
市川キャンパス
(’23年6月)

5. 11月からの基礎講座

5. 11月からの基礎講座

当研究部会では（「秋の18講座」が終了する）11月から、以下の**基礎講座**を 研究部会の前半に実施いたします。

毎月 第2or3 火曜日 16:30～17:30

(仮称) 11月：秋の18講座の補足、中長期修繕計画
12月：キャンパス改善などの計画～実施の実務
1月：学校法人会計：基本金と減価償却の仕組み
3月：帝京大学の省エネ活動

【参加方法】

(次年度は改めてご案内します)

当研究部会員にご登録して頂くか、または
“お試し参加”(3回まで)の登録をお願いします。
多くの方の参加をお待ちしています。